

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム 居場所あおの

作成日: 平成 30年 9月 1日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	利用者と家族には、入浴回数や支援の方法が選択でき、事業所が柔軟に対応できることを説明し、利用者のこれまでの入浴習慣や家族の望むことなどを情報収集し、1人ひとりに対するサービスの質を向上させる必要がある。	利用者や家族に対し、生活支援の意向について情報収集し、支援方法が選択でき、柔軟に対応できることを説明し、利用者が安心して生活が送れるようサービスの質を向上させていく。	生活に対する意向について利用者・家族へ支援方法や支援内容を詳しく説明・話し合いをおこなう。その内容は、利用者・家族・施設職員が共有し、生活の質向上を目指していく。又、現状の生活状況を利用者・家族・施設職員と共に確認し、修正が必要な場合は十分な擦り合わせをおこない意向の実現に向け取り組んでいく。	6ヶ月
2	7	虐待防止の研修に行政や地域包括支援センター職員を招いて高齢者虐待防止関連について学ぶ機会を持ち、職員の高齢者虐待防止に関する理解や意識を更に高めていく必要がある。	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を設ける。 高齢者虐待防止に関する知識を深める。	年度内に、地域包括支援センター職員を講師に招き、高齢者虐待防止関連法について学び、知識を深め、理解や意識を高めていく。	3ヶ月
3	4	サービスを利用する当事者である利用者の会議参加の実現と、さらなる充実を図る必要がある。	利用者と共に運営推進会議の開催をおこなう。	・2ヶ月に1回の運営推進会議の準備等に利用者も参加し、共に運営推進会議を開催していけるよう取り組んでいく。 ・運営推進会議を通じ、利用者の声を吸い上げ、利用者の希望する生活の実現に向け取り組めるような会議とする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月